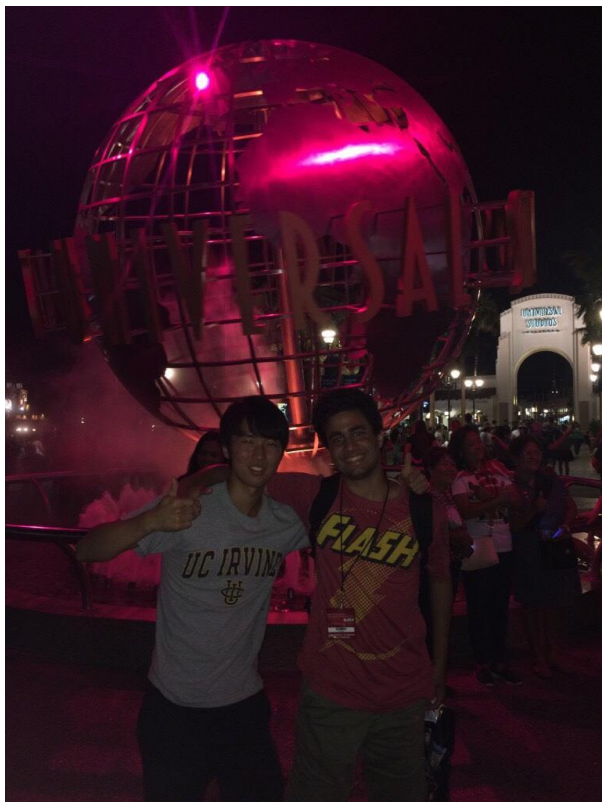


留学報告書

記入日:2017年10月10日



所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科クリエイティブビジネスコース
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学アーバイン校 現地言語: University of California Irvine
留学期間	2017年6月～2017年9月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年9月15日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月19日～ 2学期:1月4日～ 3学期:3月29日～ (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	25300人
創立年	1965年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	4788	円	
宿舍費	4474	円	
食費	1200	円	
図書費	50	円	
学用品費	150	円	
教養娯楽費	800	円	
被服費	200	円	
医療費	0	円	
保険費	500	28630 円	形態:
渡航旅費		158800 円	
雑費	300	円	
その他		18400 円	F1visa 申請料金
その他	1500	円	non international student fee
その他		円	
合計	13962	205830 円	

渡航関連

渡航経路:NRT-LAX

渡航費用

チケットの種類	e ticket
往路	61000 円
復路	97800 円
合計	158800 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

ユナイテッド航空

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2 人)

3)住居を探した方法:

明治大学の資料

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

他人と同じ部屋で3ヶ月暮らすというのは大変そうかもしれませんが意外とすぐ慣れて楽しめます。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

サマーセッション専用のオフィスがある。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険といわれる場所は最初のオリエンテーションで言われそういった場所には行かないようにした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
特に問題なし。
5)現地で資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
現金を日本から持ってきて足りないときはクレジットで払うか ATM からクレジットで引きおろした。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
特になし。
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)
渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った。
卒業後の進路について
1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
インターネット
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
航空関連の会社
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
渡航先でネットで調べたり友達に連絡して情報を得ることができたので留学中そこまで不安にはなりませんでした。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
FLM&MEDIA85C MEDIA&DIGITAL	NEW フィルム&メディア85C ニューメディア&デジタル
科目設置学部・研究科	
履修期間	6月~8月

単位数	4	
本学での単位認定状況	未取得単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に1時間50分が3回	
担当教授	Matt Knutson	
授業内容	メディアの発展や付き合い方について映画や記事を読んで学びます。	
試験・課題など	試験はノートをまとめて覚えておけば平気です。課題は記事を読んで自分の意見をレポートにまとめるというもので、自分の考えをきちんと言えば大丈夫です。	
感想を自由記入	毎週月曜日にメディアに関する映画を観るのでとても楽しかったです。教授もとてもやさしくオフィスアワーに行ったときは丁寧に教えてくれました。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	ECON13 GLOBAL ECONOMY	履修した授業科目名(日本語): エコノミー13 グローバルエコミー
科目設置学部・研究科		
履修期間	6月～8月	
単位数	4	
本学での単位認定状況	未取得単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式+ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に2時間50分が2回	
担当教授	George Sarraf	
授業内容	国際経済を教授のパワーポイントをもとに授業が進められていきます。授業後にある週1のゼミでは、その日の授業の復習を教授のアシスタントの方が演習形式でしてくれます。	
試験・課題など	課題は多くの問題を解いて提出するというもので授業をちゃんと聞いていればできます。試験はこの課題をもとにしているので課題をちゃんと解いた人にはいい結果が得られると思います。	
感想を自由記入	パワーポイントがウェブサイトで公開されていたので最悪授業でうっかり聞き逃しても自分で勉強することができたので良かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	③ AC ENG 22B ESL-READING & VOCAB	履修した授業科目名(日本語): アカデミックイングリッシュ22B ESL リーディング&語彙
科目設置学部・研究科		
履修期間	8月～9月	
単位数	2	
本学での単位認定状況	未取得単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に1時間50分が3回	
担当教授	Neda Sahranavard	
授業内容	教科書や新聞記事など様々な題材を使ってリーディングやリスニング、プレゼンテーションを行います。	
試験・課題など	試験は所見のリーディングを解くものと授業で勉強した単語などが出題されます。課題は大体週一回あり、記事に対する自分の意見などをクラスのウェブサイトに出します。	
感想を自由記入	ネイティブ用の授業ではないので難しい授業ではありませんがやるのがたくさんありました。宿題をする際キャンパスというクラス専用のウェブサイトをししば使ったので提出物を印刷する手間などが省けて良かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	MGMT 190 ORGNIZATION CHANGE & INNOVATION	履修した授業科目名(日本語): マネジメント190 オーガニゼーションチェンジ&イノベーション
科目設置学部・研究科		

履修期間	8月～9月
単位数	4
本学での単位認定状況	未取得単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に2時間50分が2回
担当教授	Grace McLaughlin
授業内容	主に組織で起こす改革について学びます。改革を起こす際どのように行動すべきか学ぶことはできます。教授がひたすら話し続けるのではなくたまに生徒も参加しディスカッションのようなかたちになります。
試験・課題など	試験はほとんどの問題が文にして答えるものです。そのため授業で習ったことを試験前までに自分の言葉で説明できるようになる必要があります。課題はグループで協力してケーススタディの設問に答えるというものが2つありました。
感想を自由記入	授業を受け始めた頃とても大変な授業だと感じたのですが受けていく内に段々慣れ乗り切ることができました。教授も非常に優しくなんでも教えてくれるので助かりました。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	留学に関して調べ始める。
8月～9月	明治の相談窓口で留学について相談。
10月～12月	行きたい留学プログラムを決めてその準備。またその条件を満たすため TOEIC の勉強。
2017年 1月～3月	渡航前の準備。アメリカの大学に書類を送ったり、自分のとる授業を決めたりする。
4月～7月	4, 5月の間にアメリカ大使館に VISA 申請。6月は渡航前最終準備。7月の中旬に中間テスト。
8月～9月	8月の中旬に期末テスト。8月の下旬に中間テスト。9月の中旬に期末テスト。
10月～12月	留学報告書やその他書類にとりかかる。
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	高校 2 年生の時に体験したアメリカでのホームステイ生活が私の中で非常に楽しい思い出として強く残っていて、もう一度学生時代にそのようなことを経験したいという思いがあったのと、単純に英語を使って人と会話をできるようになりたいという思いがあったからです。また、20 歳前半を過ぎてから留学をすると耳がうまく英語に順応しなくなるということを聞いたことがあったので、大学卒業後ではなく在学中になるべく早く留学をしようと思っていました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学前に語学力を上げるのももちろん大事ですが、このプログラムは世界中多くの国から生徒が集まるものなので、渡航前に多くの国に対する知識を増やすことはいい考えだと思います。たとえば私の場合は、台湾人やエジプト人、さらにはレバノン人とも仲良くなりました。私はあまり彼らの国について疎く、うまく彼らの国の面白い話を引き出すことができませんでした。反対に彼らは日本に対する知識が多く少し申し訳ない気持ちになりました。そのため留学前に色々な世界の知識を増やすのはいい考えだと思います。
この留学先を選んだ理由	私は大学在学中に休学せずに半年以上海外留学をするという目標があり、それを実現できそうな留学プログラムがこれしかなかったというのが一番の理由です。実際このカリフォルニア大学サマーセッションの留学プログラムは6月から9月までの3ヶ月間しかないのですが、それに参加することによって春学期の明治の授業に出席する必要がなくなるのでその間自分で決めた他の留学先へ行くことが可能です。例えば1月に明治の期末試験が終わった後に3ヶ月ほど渡航しその後このプログラムに参加することができます。
大学・学生の雰囲気	大学のキャンパスはとにかく広いです。ほとんどの人が最初は迷うと思います。キャンパス内には緑が多く公園のような場所や、ジムやプールが何か所にもあります。とても過ごしやすい環境です。学生は皆フレンドリーで基本的に知らない人でも全く気にせず話しかけます。例えば教室がどこかと尋ねれば大半の生徒は笑顔で応え丁寧に教えてくれます。そのためキャンパス内で迷っても全く問題ではありませんでした。反対に自分が新しい生徒に道を尋ねられることもしばしばありました。
寮の雰囲気	寮では本当に様々な国から集まった生徒がたくさんいました。皆すぐ打ち解けあい一緒に映画を観たりプールに泳ぎに行ったり全体的にとっても楽しい雰囲気でした。しかし全く問題がないというわけではありません。例えばキッチンには皆で共有しているので冷蔵庫に入れておいたものがなくなったりするなどのことがありました。そういう問題が発生した時は一緒に寮に住んでいる現地の生徒が皆を集め皆にそういうことがないよう呼びかけ秩序を保ってくれていました。
交友関係	様々な国から多くの生徒が来ているので、友達作りには苦労しません。色々な国の人と仲良くなるというのは一口で表せないほど素晴らしいことです。彼らと一緒に過ごしている時間がとにかく楽しかったです。確かに違う国の人と喋るのは言語の壁があり、苦労することはありましたがそこで日本人と日本語を喋って妥協するのは海外にいる意味がないと思い、そういうことは意識的にしませんでした。海外にいるなら海外でしかできない友達を作るべきです。
困ったこと、大変だったこと	色々な文化の人と友達になるとやはり考え方の違いがあることに気が付きます。私のルームメイトはイタリア人で彼はなんでも包み隠さず言う人でした。日本人がするような間接的な対話は彼には受け入れられなかったらしく、また私も直接すぎる言い方に不満があったのでそのことで何度か衝突しました。実際こういう話はよく耳にしますが実際西洋の人とそれについて話し合うとは思いませんでした。それでも 3 か月同じ部屋にいて腹を割って話すことでお互いを理解しあうことができました。そういった文化の違いを肌で感じることでできたのでむしろよかったです。
学習内容・勉強について	とる授業にもよりますが私がとった授業のうちの一つは授業内で必ず発言しなければならないというものでした。周りの生徒がネイティブばかりで注目されるのでそれが私にとって一番つらかったです。授業内で分からない内容があればオフィスアワーという時間に教授に会いに行つて二人きりで話すことができます。教授を独占して話を聞くことができるので非常に助かります。実際に私は何度もオフィスアワーの時間に教授室へ行き、それをうまく利用して勉強に役立てていました。
課題・試験について	課題をこなすのは最初は時間がかかりましたが段々慣れます。授業で作ったネイティブの友達に協力してもらうこともできます。そのため課題はそこまで問題ではありませんでした。大変なのは試験です。成績の試験の割合が高く失敗できないのでひたすら勉強するしかありません。日本語での試験勉強なら楽勝ですが英語で理解し勉強するとなると話は別です。私は試験勉強の際復習するだけでかなりの時間がかかりました。更にその内容を説明できないといけないのでとてもつらいです。

大学外の活動について	授業のない日は基本的にジムやプール、ビーチなどに行っていました。私はこの大学のジムなどの施設がとても好きだったので暇さえあればそこへ行きました。プールはとても深くて広く静かなのでリラックスするための場所として行っていました。ビーチは uber を使えば安い料金で早く行くことができます。私はよく週末に友達とビーチへ行きひたすら泳いでいました。カリフォルニアのビーチは日本のものとは比べ物にならないほど広く綺麗で楽しい場所でした。
留学を志す人へ	留学へ行ったならその時その場でしかできないことを存分にすべきです。日本語を喋るのはもったいないです。私は海外へ来ているのに日本語しか喋っていない人を何人も見てきました。確かに日本語を喋るととても落ち着きますが留学という修行をしているのにそんなものは必要ありません。思い切って海外でしか作れない友達をたくさん作りましょう。一人でも自分が心からいい友達と思える人ができれば留学に来た価値があると言えると思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中							
	予習	予習	予習	予習	予習		
午後	授業	授業	授業	授業	授業	食料の買出し等	
	授業	授業	授業	授業	授業	ビーチ	
夕刻	ジム	プール	ジム	プール	ジム		プール
夜	食事、勉強など	食事、勉強など	食事、勉強など	食事、勉強など	パーティ	映画	映画